

〔林間学園二日目…〕

たくさん体験から学べるもの！

林間学園二日目、あいにくの雨模様で天気でした。磐梯山も朝靄に包まれ、最低気温もなんと10℃を下回るような肌寒い陽気でした。そんな厳しい陽気の中で始まった体験活動。

二手に分かれて、農業体験と会津市内班行動に取り組みました。農家の方の話によると、今の時期は田植えや摘花など、作業は多岐にわたり、一番忙しい時期なのだそうです。そんな大変なときですが、みなさんに少しでも農業を体験してもらい、農業そのものだけでなく、色々なことを学んで欲しいという強い願いから受け入れをくださったと思います。だからみなさんのために、本当にたくさん準備をしてくださっていたこと。みんな



なも感じていたのではないでしょう。お世話になった農家の方によって、お米作りだったり、アスパラ（会津は日本有数の産地だそうです。一本の苗木で十五年以上収穫するそうですが、知ってましたか？）の収穫、花の栽培と違いはありましたが、貴重な体験をさせていただくことができました。農家の方々が一生懸命、丹精込めて育ててくださったものを私たちはいただいていることを忘れないでいたいですね。

できる限りみなさんの体験の様子を見たいと思います。本当に短時間でしたが回らせていただきました。どこの場所でも一生懸命に取り組んでいたのはもちろんのことですが、お世話になさったタクシーの運転手さんから、とてもうれしいお話を伺うことができました。

「先生の学校の生徒さんたちは、挨拶もしっかりできるし、マナーがとても素晴らしいですね。素晴らしい生徒さんたちです。」というお話でした。また、ある農家の方は、みなさんを送ってきてくださった後で、わざわざ私を探して

お褒めの言葉をいただきました。半日というとても短い時間でしたが、みんなが明るく、そして一生懸命に取り組んでくれたことは、相手のみなさんの心の中にもしっかりと染み渡っていたのだと思います。

初めての宿泊学習。宿泊した場所は国立の研修施設なので、ホテルや民宿に泊まるのは少し勝手が違います。それでも一日一日確

実に力をつけてきたみんなです。海外から研修に来ていた方たちもたくさんいらつしやいました。みなさん自身が色々な視点で考えられたことは、とてもよい学びになったの



ではないでしょうか。

旅行行事では特にそうですが、なかなか予定通りに進まないこともある。そんなときは、「臨機応変」に取り組むことが求められます。世界に羽ばたいていくことのできる力を身につけるために、メリハリを大切にして、様々な状況に順応する力を更に身につけていきたいですね。

夜は『学年レク』を体育館で行いました。歌声委員のみなさんが中心となって進めてくださいましたが、とても盛り上がりました。しっかりとやるときには集中して取り組み、楽しむべき時は、めいっぱい楽しむ。これって、とても大切なことだと思いませんか。体育館に響き渡った歓声。盛り上がりすぎたのか、



残念ながら時間が足らなくなってしまう、決勝戦までいくことはできませんでしたが、どのクラスもめいっぱい楽しい時間を過ごして



いたのではないのでしょうか。楽しむとき、集中するとき、それぞれが大切な体験でした。たくさんの方たちの支えがあって、今回の体験は成功しています。最終日には『震災の体験』について学びます。各クラスがコースに分かれて学ぶので、それぞれの学びを、どうかみんなで共有していただきたいと思います。

来年の今頃は修学旅行。今回の学びは、そんなところにも活かすことができそうです。みんなのすばらしさを改めて実感できた今日。明日へつながる取り組みを、これからもみんなで大切にしていきたいですね。